

みなさんこんにちは、いつも白衣の恵子先生です。壬生町で毎年12月の上旬に行われている「ゆうがおマラソン」。ゲストには、シドニーオリンピックの女子マラソン金メダリストである高橋尚子さんが招かれています。彼女は「キャリアチケット」のインタビューでこんな言葉を残しています。

「最初は、タイムや順位をねらうというよりは、チームメイトと辛い練習を励まし合いながら一生懸命過ごしているということ自体が楽しかったという思い出が一番です。そこに初めて結果がついてくること、その一生懸命やっていることで学ぶこと、また友達の大切さを学んだり、ひとつひとつダメでもやり続ければできるようになったりっていうことを繰り返しました。はじめには明らかに人と差があったものも、少しずつ少しずつ積み重ねで埋めていくことによって少しずつですが、力がついたのかなと思います。「最初から諦めずに、少しずつやれることを繰り返して自信につなげていく」っていうことはすごく大きいのかなと。私はちゃんとそれが開花し始めたのが25歳以降で、そこまでの下積みは長かったんですが、それでも本当に小さい目標を立て、それをクリアしていくば、自分の目指したい自分に少しずつ近づいてこれるのかなと思います。」

オリンピック金メダリストの言葉を聴いていかがですか？この持久走チャレンジ月間、みなさんは自分の目指したい自分に近づくことができましたか？今日は1年生から3年生まで持久走記録会を実施しました。走り終わった後の達成感に満ち溢れた表情から、自分の目指したい自分に近づけたことが伝わってきましたよ。

1年生の記録会後にインタビューすると

嬉しかったあ。全力を出して走りきました。！持久走チャレンジ月間から1日5周以上を目指して頑張りました。1位になれるように頑張りました。

嬉しかったです。楽しく走ることができました。また、1位になれるように頑張りたいです。

諦めないで4周走ることができました。今度こそ諦めずに1位になりたいです。

頑張って10位をとれたので嬉しかったです。

と素直な感想が返ってきました。2年生の記録会後にインタビューすると

前を見て走ることを意識しました。最後まで全力で走りきれて満足です。

練習を重ねてきたから記録会ではいい記録が出るようにと考えていました。

あと1周、あと半周と小さい目標を立てながら走ったので、最後まで走り切ることができました。

タイムを早くするために、教わったことを意識して、足を高く、腕を振って頑張りました。自己ベストが出せて嬉しいです。

と成長を感じる感想が返ってきました。3年生の記録会後にも、インタビューしてみました。

自分はまだまだだけど、ここで出せたのは自己ベストだから嬉しいです。

今日はいつもより遅くなっちゃったから、マジすごい悔しい。あ一本本当に悔しい。

いつも通りの走りができたし、一昨日の走りより伸びたから満足です。

最後まで頑張れたのは、諦めないでやったこと。弱音を吐かずにやったからだと思います。

さらに客観的に自分を見られる感想がでてきましたね。年を追うごとに心も成長していることを感じます。

頑張ったみなさんに校長先生から言葉をいただきました。

皆さんの姿に感動しました。スタートに立ったときドキドキしましたよね。今日はちょっとやめたいなあと思った人、いると思います。でも、誰も途中で歩いたりやめたりはいませんでした。いつもと比べてタイムたや着順も気になるかもしれません、いちばん大切なことは「つらいな」「いやだな」ということから逃げないで最後まで走りきってゴールしたこと。そういう強いカッコいい心をもっていること。そして、最後まで友だちがゴールするまで応援する優しい心をもっていること。それがとっても素敵だと思いました。頑張ったみんなに拍手です！（拍手）

みなさんを支えてくださっている〇〇先生にお話を聞くと「1年生の頃からの姿を知っているので、こんなに頑張れるようになったんだと感慨深くなりました。1年生の頃はランドセルを片付けるのも大変だった子たちが、こんなにも力強く走れるようになっていて。しかも3年生は1周多くなって、1kmも走るのは大変だったと思いますが、最後まで全員が走れたので素晴らしいと思いました。」と感動していました。

最初からできないと諦めるのではなく、少しずつでいいから、自分ができることを続けて、繰り返し取り組んできたから今日がありましたね。みんな「粘り強く最後まで」頑張りました！！お疲れ様でした。この経験が、次の挑戦の自信につながっていくのですね。

さあ、来週は4・5・6年生が記録会です。頑張ってくださいね。
それではまた来週See you next week!Have a nice weekend!!